



# 登龍門、始動。

日本が新たな成長戦略を実現していくためには、東海地域の誇るものづくりの復活が不可欠です。そのためには、経済成長著しいフロンティア・アジア諸国との連携が欠かせません。名古屋大学では、製造業の国際的なビジネス展開と国際連携を支えることのできる人材を、文系・理系の枠を超えて養成するためのプログラムを開始します。

博士課程教育リーディングプログラム(オールラウンド型)

## PhD プロフェッショナル登龍門



名古屋大学では、文部科学省「博士課程教育リーディングプログラム」の一環として、ものづくりビジネスのグローバル展開を支える次世代リーダーを養成する新たなプログラムを、2013年10月に開設します。

- 参加学生には、大学院各研究科の通常のカリキュラムに従って修士・博士学位の取得を進める一方、コミュニケーション力・異文化理解力・自律的な問題解決能力など社会で広く活躍するために必要となる能力を獲得するためのさまざまな教育コースに参加してもらいます。
- フロンティア・アジア諸国の実情を理解するための海外研修、ブリティッシュ・カウンシルによる英語教育、多文化社会や起業精神を学ぶためにアメリカで実施される集中講義など、国際性を涵養するための教育コースも設置されます。これらに必要な経費は、基本的に大学が負担します。
- 将来のリーダーを目指す学生が安心して学業に専念できるよう、学修奨励金支給などの支援措置を講じます。また、活動状況を評価し、優秀な学生には総長より「優秀学生表彰」が与えられます。
- 博士前期・後期課程を通じた5年間一貫のプログラムであり、修了・学位取得後に産官学の各界における実践的な活動に取り組むことを希望している学生を歓迎します。研究者養成を第一目的とする

プログラムではない点に注意してください。

- 参加学生の選抜は、2013年4月に大学院に入学したもののうち、希望者を対象として行ないます。出願締切は5月17日(金)頃の予定ですが、研究科によって異なりますので確認してください。
- 募集説明会が、4月26日(金)17:00より、シンポジオンで開催されます。応募を考えている学生は、できるだけ参加してください。

**選抜対象:**名古屋大学大学院各研究科(創薬科学研究科・法學研究科実務法曹養成専攻を除く)の博士前期課程・修士課程に2013年4月に入学し、後期課程進学・博士号取得を希望しているもの。各研究科長による推薦を必須とする。

**採用予定人数:**日本人学生12名(これ以外に留学生8名程度)。

**待遇:**学修奨励金(月額20万円予定)を、入学年度10月から4年6ヶ月間支給(継続審査・学修状況による停止あり)。これ以外に住居の斡旋、海外渡航費用等の補助を予定。

**応募書類の提出先:**所属研究科の教務窓口